

オングウェディバ見本市における日本文化紹介事業 令和4年8月26～28日



8月28日、ナンゴロ・ムブンバ副大統領による公式の見本市開会式が開催され、クーゴンゲルワ＝アマディーラ首相、イーブンブ産業化・貿易大臣、イリマリ・オシャナ州（オングウェディバが所在）知事、オングウェディバ市長、その他閣僚、州知事が出席しました。同開会式には西牧大使も出席しました。開会式後、副大統領一行による会場視察があり、副大統領、首相、産業化・貿易大臣、オシャナ州知事は日本ブースも訪問し、西牧大使からブースの説明を受けるとともに、JICA協力隊による書道を見学しました。



（左から）開会式に出席するイーブンブ産業化・貿易大臣、クーゴンゲルワ＝アマディーラ首相、ムブンバ副大統領

見本市の開会を宣言する副大統領



当館は、8月26日～28日の期間に見本市にブースを出展し、出展期間中、幅広い年齢層の計1,300名の訪問がありました。ブースでは、大使館職員と、ナミビア全国で活躍する海外協力隊7名を含むJICA関係者が来訪者との文化交流を行いました。左の写真は表通りに面したブース前面（書道体験）、右は背面（伝統玩具体験、浴衣の着付け）



来客者の名前を漢字、カタカナ、ひらがなで和紙に書く体験が特に人気で、子供から大人まで多くの来訪者が書道の様子を珍しげに見学し、日本語で書かれた自分の名前を持ち帰りました。2019 年大統領選挙で次点の得票（29.4%）を獲得し、野党「変革を目指す愛国者達」党首であるパンドゥレーニ・イトウラ氏もブースを視察し、和紙にカタカナで書かれた名前を持ち帰りました。



ブース背面では、来客に日本の伝統玩具（剣玉、コマ、ダルマ落とし）を紹介するとともに、浴衣、法被の着付けも体験してもらいました。それぞれ、子供を中心に大きく好評を博し、日本の伝統文化を楽しんでもらうことができました。

（了）